

高山甚五兵衛家

初代高山甚五兵衛朝繁（童名集之助）

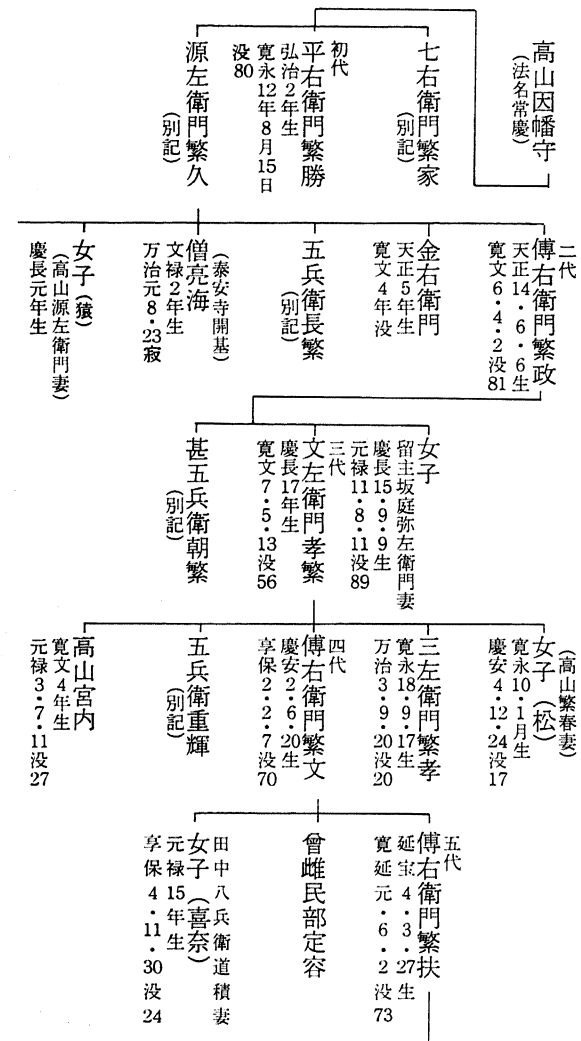
寛永五年（一六二八）八月二十日、傳右衛門繁政の三男として上州物社に生れる。秋元當朝に仕えて三百石を賜わる。喬朝が幼稚のため江戸に居住して奉勤し、寛文七年（一六六七）八月十五日家老となり、食禄五百五十石を賜わり、元禄十二年（一六九九）家督を嫡子宜繁に譲り、隠居して谷村に居住した。

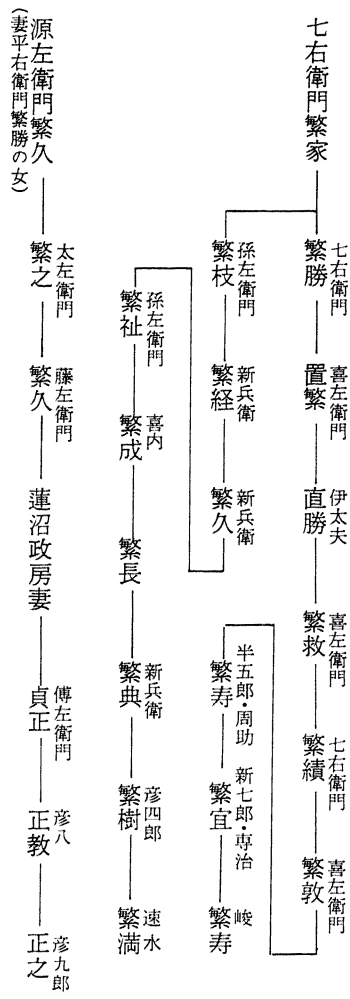
元禄十四年（一七〇二）八月十九日谷村に於て没す。行年七十四歳。法名高長院常悦日勇居士。谷村東漸寺に葬る。（墓石は現存している。）

二代高山甚五兵衛宜繁（童名主税之助、のち源五郎）

喬知、喬房、喬求、涼朝四君に家老職として仕えた。喬房の時に増禄百五十石、総べて七百石を領した。天和元年（一六八一）八月十二日江府に誕生。

高山家系図





主税之助
主税
成繁
純一

